

海苔養殖施設保護のために

～「みえなア缶」で施設を明示しましょう～

詳しくは姫路海上保安部ホームページをご覧ください



ホームページ

改訂版 空き缶レーダー反射器「みえなア缶」の作り方

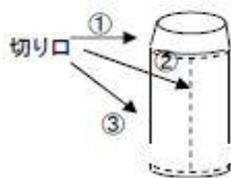
用意するもの

・500mlのアルミ缶3個 ・アルミテープ(アクリル系粘着材のもの) ・工作用ハサミ ・カッター ・千枚通し

所要時間は約50分
(慣れれば約30分です。)

つくり方

1 アルミ缶をカッター及びはさみで板状に切り開きます。3個のアルミ缶で同じものを3枚つくります。

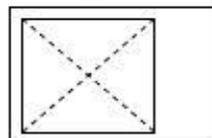


①カッターで切り目を入れてはさみを差し込んで上部を切り離します。②次に1箇所垂直に切り目を入れます(缶の模様に沿って切ると良い。)。③底まで切れたらはさみの角度を変えて底の部分を1周切り、底を切り離します。



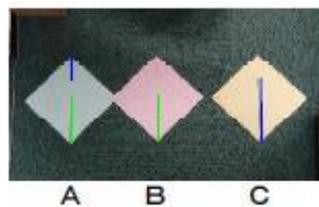
2 広げたアルミ板から、1辺13cm正方形を3枚作ります。(定規と千枚通しを使って印をつけ、ハサミで切り取ると綺麗に切り抜けます。)

正方形には右図の点線のように、対角線に千枚通しで軽く目印の線を引きします。(注:アルミが薄いので強く線を引くと、切れてします。)



【以下 判り易くするため、色紙にて表示します】

3 2で印を付けた対角線上に右図A(中心までと反対側の中心より半分まで)、B(中心まで)、C(中心を越えて3/4の位置まで)のようにそれぞれハサミで切り込みを入れます。



4 AとBの緑線部分を奥まで差し込んで一体となるように合わせ、Aの緑線部分とBの合わせ目にアルミテープ(赤色部)を張り十字になるように開きます。



アルミテープ

5 4で開いたBの切り込みを入れた方を対角線部分からそれぞれ左右どちらか同じ方向に90度折り曲げます。



Bの切り込みを90度折り曲げる

6 Aの青色切り口からC青色切り口を差込みます(左図参照)。差し込んだCの中心から下を5で折り曲げたBの切り込み部分と逆に90度折り曲げてBの折り曲げ部分と同一面になるようにします。



CをAに差込み切り込みをBと反対に90度折り曲げる

7 各面の合わせ目をアルミテープで固定します。



350mlのアルミ缶で作る方法



500mlのアルミ缶で作る方法

神戸海上保安部航行安全課
姫路海上保安部交通課